

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年3月31日

事業所名

米子市立あかしや

		チェック項目	はい	いいえ	特に工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	15	0	・職員間で連携し、感染症対策も含め、活動スペースが密にならないよう工夫しています。	
	②	職員の配置数は適切であるか	11	4	・国の基準を上回る職員を配置し、子どもの実態に合わせた配置ができるよう、配置に努めています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14	1		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11	4	・感染症対策を含め、毎日全館を清潔に保つようにしています。	・園庭遊具、施設修繕については、子どもたちが常に心地よく過ごせるよう、引き続き整備します。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	12	1		・定期的にクラス会等を実施し、目標設定と振り返りができるよう努めます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	12	1	・いただいたご意見や課題について、検討し、改善に努めています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10	2		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	9		・外部の専門機関と連携し、業務改善に努めます。

	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	14	0	・オンライン研修も取り入れ、可能な限り研修の機会を確保しています。	
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	14	0	・子どもと保護者のニーズや課題を、職員間で共通理解し、保護者の思いに寄り添った支援計画の作成に努めています。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	13	1	・KIDSを使用しています。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14	0		
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14	0		
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	14	0		
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	13	0	・月ごとのクラス会で、活動プログラムが固定化しないよう、プログラムを立案しています。	
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	14	0		
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	14	0	・朝礼やクラスごとのミーティングを行い、確認しています。	
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	14	0		

	⑯ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	14	0		
	⑰ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	14	0	・保育士だけでなく、他職種の視点も入れ、モニタリングに活かしています。	
関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	13	0		
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	13	0		
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	13	0		
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	13	0	・保護者同意のもと、必要な情報を書面等で共有しています。	
	㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	13	1		
	㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	10	・感染症拡大防止のため例年のような活動にはなりませんでしたが、今後の状況を見ながら活動の機会が持てるよう努めます。	

	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	13	0	・代表者が参加しています。	
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	13	0		
	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	6	5	・感染症拡大防止のため、ペアレント・トレーニングは実施できませんでしたが、今後の状況を見ながら実施できるよう努めます。	
	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	12	0		
	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	13	0		
保護者への説明責任等	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	13	0	・懇談など、十分な時間をとって、共通理解に努めています。	
	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	12	1	・感染症対策を徹底しつつ、今後の状況を見ながら活動の支援を行います。	
	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	1	・相談等に対して、職員間で共有し、適切な対応に努めています。	
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	13	0		
	個人情報の取扱いに十分注意しているか	13	0		

	(39) 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	13	0		
	(40) 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	8		・感染症対策を徹底しつつ、今後の状況を見ながら地域住民との交流を行います。
非常時等の対応	(41) 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	16	0	・マニュアルを策定、掲示し、訓練も実施しています。	
	(42) 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	16	0	・毎月訓練を実施しています。	
	(43) 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	15	0		
	(44) 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	14	0	・今年度は対象のお子さんがあれませんでしたが、食物アレルギーのあるお子さんについては、主治医の指導のもと、保護者・調理員・園長、担任で丁寧に除去確認を行います。	
	(45) ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	16	0	・前職員で共有し、再発防止に努めています。	
	(46) 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	16	0	・研修に参加した職員により、伝達研修を行っています。	
	(47) どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	14	0	・身体拘束を行う場合は、保護者同意のもと、行います。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。